

平成 30 年 11 月 8 日
2018・2019 会議室

平成 30 年第 21 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成30年第21回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成30年11月8日(木)

開会 午後 1時

閉会 午後 1時40分

2 場 所 208・209会議室

3 出席者

教育長 小 町 邦 彦

教育委員 松 野 登 田 中 健 一

伊 藤 憲 春 佐 伯 雅 斗

署名委員 田 中 健 一

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 栗原 寛

教育総務課長 庄司 康洋

学務課長 浅見 孝男

指導課長 小瀬 和彦

統括指導主事 森保 亮

教育支援課長 矢ノ口美穂

統括指導主事 川崎 淳子

学校給食課長 南 彰彦

生涯学習推進センター長 五十嵐 誠

図書館長 池田 朋之

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 西上 大助 井田 容子

案 件

1 協議

- (1) 若葉台小学校の校章について

2 報告

- (1) 図書館システム更新に伴うシステムの停止について
- (2) 施設予約システム（利用者端末・窓口業務用端末）の停止について
- (3) 平成30年度教育委員会事業後援（上期）の概要について

3 その他

平成30年第21回立川市教育委員会定例会議事日程

平成30年11月8日

208・209会議室

1 協議

(1) 若葉台小学校の校章について

2 報告

(1) 図書館システム更新に伴うシステムの停止について

(2) 施設予約システム（利用者用端末・窓口業務用端末）の停止について

(3) 平成30年度教育委員会事業後援（上期）の概要について

3 その他

◎開会の辞

○小町教育長 ただいまから、平成30年第21回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に田中委員、お願いいたします。

○田中委員 はい。承知しました。

○小町教育長 次に議事内容の確認を行います。本日は協議1件、報告3件であります。その他は、議事進行過程で確認をいたします。

次に、出席者の確認を行います。栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 本日の第21回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、川崎統括指導主事、森保統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長でございます。

◎協 議

(1) 若葉台小学校の校章について

○小町教育長 それでは、1 協議 (1) 若葉台小学校の校章について、を議題といたします。

浅見学務課長、説明をお願いいたします。

○浅見学務課長 協議事項、若葉台小学校の校章について、ご説明いたします。

若葉台小学校の校章につきましては、7月27日開催第14回教育委員会定例会及び8月9日開催第15回教育委員会定例会において協議し、原案が選定されました。

その後、補作にとりかかりましたが、補作者につきましては、第一小学校校長が、開校150周年記念キャラクターの補正を学術研究で親交のあった大学研究室に依頼されたご縁から、学校長を通してご紹介いただきました。補作者は、千葉工業大学創造工学部デザイン科学科大学院1年生、松本竜太さんでございます。

補作後の校章につきましては、図にお示ししたとおりです。過日、私も大学研究室において松本さんにお会いし、デザインについてのお考えをお聞きしました。デザイン化にあたっては、松本さんは黄金比等をもとに計算した上でのデザインを前提にした上で、主な変更点を3点挙げておられます。

1点目は、原案で小学校の「小」となっていた文字を「若葉台」としました。2点目は、若葉台の「台」の文字を、デザイン化した「若葉台」の文字の背後のデザインを四角形から五角形に変更し、より「台」の字に近いデザインとしました。また、葉のデザインもすっきりとさせ、伸びゆく若葉を象徴化するように図案化したということで、原案をつくりました原作者によりますと、若葉に包まれて伸び伸びと育ってほしいという思いを葉のデザインにしたということです。原作者の意図をより図案化したものとなっております。

なお、葉の色及び文字のコード等につきましては図の右にお示ししたとおりでございます。

説明は以上でございます。ご協議をよろしくお願い申し上げます。

○小町教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 今の説明を伺いながら、さすがだなということで感動しております。

今回、応募作品数が393点、これを検討委員会で協議され、その上で制作者の作品として杉浦璃々子さんの作品が採用されたわけですが、その上でさらに、補作された校章については今ご説明がありましたように千葉工業大学の松本竜太さん。しかも今説明の中で3点あったわけですが、まったく私もそのとおりだなと思います。

課長からお話がありましたように黄金比という言葉が今あったかと思いますが、この作品としては、図形として黄金比を適用して、正方形を用意し、その長さ1に対して片方の長さを1.618の長さが黄金比なんですね。それは長方形の全体が美しく見えるデザインになっておりますし、しかも色彩、文字等々、また、伸びゆく若葉台の子どもたちの心を象徴する校章であるなということで、是非この方向でお進めいただきたい、補正後の校章で承認したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 私も、田中委員と重複しますが、原作から補作に向かって、きりっとした作品に仕上がったなというふうに。特に若葉台小統合の経緯、あるいはこれからの期待を受け止めた、伸びようとする若葉、これはとても印象的でいいなと思います。しかも九中生がずいぶん応募して、3年生の手による、こんな若い力に励まされて若葉台小がスタートする、そういう意味でもとてもいい校章になったなと受け止めております。

○小町教育長 ほか、ございますか。伊藤委員。

○伊藤委員 私も両委員のお話のとおり、とてもすっきりした、これから未来を予見させるようなとてもいい校章になっているのではないかと考えて、私もとてもよろしいかなと思っております。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 私も、あれだけの作品の中から、とてもすばらしいものを選ばれたなというふうに思っておりますので、是非これを活用していただきたいと思います。

○小町教育長 では私からも。若葉台小学校は両校を閉校した上で新校として今建築に入っておりますけれども、そういった経緯を踏まえて、その両校の卒業生、誰よりも九中の生徒がたくさん応募していただいて、その中から最終選考に残った、とてもこれからの未来を感じるような取り組みに、単なる校章の募集ではなくて未来を創るようなそんな校章の決定過程になったのかなと思っています。本当に地域の皆様、中学生の皆様に感謝申し上げたいと思っています。

若葉台小学校は、地域と共にある学校、地域と共につくる学校ということで基本的なコンセプトを定めて、今も建築にかかっているわけでございますので、そういったことを校章として象徴的に表すデザインになったのかなと思っています。これを校旗等に準備いたしまし

て、お披露目会のときには校歌とともに校旗としてこのデザインをお披露目したいと考えているところでございます。本当に様々な協議を教育委員の皆様にも重ねていただきまして、大変により校章になったということを感謝申し上げたいと思っています。

○小町教育長 ほかに、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。協議(1)若葉台小学校の校章について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 異議なしと認めます。よって、協議(1)若葉台小学校の校章について、は承認されました。

◎報 告

(1) 図書館システム更新に伴うシステムの停止について

○小町教育長 次に、2 報告(1)図書館システム更新に伴うシステムの停止について、を議題といたします。

池田図書館長、説明をお願いいたします。

○池田図書館長 それでは、図書館システム更新に伴うシステムの停止について、ご報告申し上げます。

図書館システム更新に伴うサーバ機器等の入替え作業ため、平成 30 年 12 月 28 日金曜日、夜 8 時から、平成 31 年 1 月 4 日金曜日、午前 10 時まで、インターネット上の図書館システムを停止いたします。休館期間につきましては、年末年始の通常の休館期間に作業を行いますので、この作業に伴う臨時休館はございません。

停止する内容は、インターネットや携帯電話などによる図書館検索システムの利用で、蔵書検索、貸出期間の延長、開館日カレンダーなどが利用停止となります。

市民等への周知は、年末年始休館期間のお知らせと合わせ、「広報たちかわ」平成 30 年 12 月 10 日号及び 25 日号、市内の各図書館館内に周知文を掲示いたします。さらに、市のホームページ、公式ツイッターにお知らせを掲載することといたします。

なお、平成 31 年 1 月 4 日金曜日から新サービスを開始いたしますが、新たに変更となる機能や追加となる機能につきましては、次回第 22 回教育委員会定例会で報告いたします。

図書館からの報告は以上であります。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 今ご説明がありましたように、図書館システム更新に伴うシステムの停止ということでございますので、今ご説明の方向でよろしく願いいたします。

○小町教育長 ほかに、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。これで報告(1)図書館システム更新に伴うシステムの停止について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(2) 施設予約システム（利用者用端末・窓口業務用端末）の停止について

○小町教育長 続きまして、2 報告(2)施設予約システム（利用者用端末・窓口業務用端末）の停止について、を議題といたします。

五十嵐生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○五十嵐生涯学習推進センター長 施設予約システムの停止についての報告でございます。

ただいま図書館長から報告がございました。図書館のサーバールームが入替えて一時停電となります。その停電の際に、同じサーバールームにあります私ども生涯学習推進センターが管理する施設予約システムのサーバも一緒に停止となります。ということで一部手続き等が行えなくなるというものでございます。

停止期間につきましては、平成 30 年 12 月 28 日金曜日の 20 時から、最大で 2 時間程度見込んでございます。

対象となる施設でございますが、施設予約システムの受付を行っている窓口ということで、この窓口をもっている対象全施設ということになります。具体的には資料裏面に施設名を掲載してございます。

停止の内容でございますが、対象施設に備え付けの利用者用端末の利用と対象施設窓口での各種手続きということで、施設予約の本申請などができなくなるということでございます。

また、これにつきましてはの市民周知でございますが、「広報たちかわ」の平成 30 年 12 月 10 日号に掲載をすることと、本日の定例会後すみやかに、市のホームページ、公式ツイッター及び「施設予約システムトップページ」にお知らせを掲載してまいります。また、先ほどの対象施設におきましても周知文を掲示してまいりたいと思っております。

なお、今回のこのシステムの停止ということでございますが、利用者の方が自宅のパソコンや携帯電話などから行う施設予約につきましては、通常どおり利用が可能となります。また、市職員の庁内 LAN の端末につきましても通常どおり使用が可能となっております。

第 9 回教育委員会にて報告いたしましたファーレ立川センタースクエアビルの法定電気設備点検の「海の日」でございますが、そのときの停電と同内容となります。

なお、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までは、年末年始ということで窓口業務は通常どおり休業となります。

以上でございます。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いします。

はい、田中委員。

○田中委員 今ご説明にありましたように、施設予約システムの停止に伴って利用者端末及び窓口業務用端末の停止ということでございますけれども、今説明があった方向でお進めいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 市民周知が図書館は25日号にも「広報たちかわ」に出るようではございますけれども、こちらには出さないのは、何か日程的な理由とかがありますか。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長。

○五十嵐生涯学習推進センター長 特に理由というものはございませんので、この後、図書館のほうと合わせたような形で周知ができるように検討したいと思います。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 なるべく、恐らく市報で出たほうが、一人でもそれで気が付く方がいればいいのかなということですが、よろしくお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。これで報告(2)施設予約システム(利用者用端末・窓口業務用端末)の停止について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(3) 平成30年度教育委員会事業後援(上期)の概要について

○小町教育長 次に、2報告(3)平成30年度教育委員会事業後援(上期)の概要について、を議題といたします。

五十嵐生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○五十嵐生涯学習推進センター長 平成30年度上半期教育委員会事業後援概要について、報告をいたします。

資料のほうをご覧くださいと思います。

まず1番といたしまして、対象申請期間は、平成30年4月1日から9月30日までということで、申請件数は68件でございました。

2番、この68件につきまして、これまでの後援実績の有無につきまして、実績有が46件、新規、新規というのは過去5年以内に後援実績のないものも含んでおりますが、これが22件ございました。

3番、申請事業の承認の可否ということで、68件全て承認となっております。

4番に申請事業の事業分野を掲載しております。

5番、申請事業の対象者、こちらのほうを掲載しております。

6番、申請団体種別ということで、こちらにも内訳を掲載しております。

その資料を1枚めくっていただきまして裏面になります。

こちらには、1番に後援申請数ということで、新規の分と先ほどお話ししました実績のある

ものの内訳を記載しながら、過去5年間ということで推移を計上してございます。

2番は、事業分野ということで、これも過去5年間の推移を表わしております。

3番の対象者につきましても、過去5年間ということで推移を表しております。

4番は、申請団体種別につきましての過去5年間の推移でございます。

その資料の反対側のところに、別添といたしまして先ほど申し上げました新規申請22件の概要をこちらのほうに掲載しております。報告は以上です。

○小町教育長 報告ありがとうございました。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 私から2点、質問をさせていただきたいと思います。

まず1点目でございます。平成29年度の上半期分の後援実績として新規が8件に対して、平成30年度は22件になってございます。12件増加しているこの背景あるいは要因は何でしょうかということでお伺いします。

2点目でございます。過去5年間、後援申請と後援実績で何か課題はございますかということです。また、もし今後予想される課題がありましたら、それについてはどのような改善策をお考えになっておられますか。

以上2点お伺いいたします。よろしくお願いいたします。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長、お願いします。

○五十嵐生涯学習推進センター長 まず1点目の昨年度と比較して新規の件数が増えているということでございます。こちらのほうは資料の別添の部分をご覧いただきたいと思います。上から2番目のサカママフェスタ実行委員会ですとか、府中アスレチックフットボールクラブの日本フットサルリーグですとか、同じくフットサル連盟、真ん中より少し下辺りに、日本近代五種協会というところが2件続いてございます。いわゆるスポーツ関係ということで、一つにはオリンピック・パラリンピックの機運が高まってきた中でのイベント、行事が多いのかなと。また、この22件の全ての会場ですけれども、22件中14件が立川市内の会場ということになっております。その中には新たに去年、民間の施設ではございますけれども屋内体育施設ができております。そういったことで、立川にそういった会場もありますし、そしてそれによってイベントをする団体さんも立川のほうでというようなことが、いわゆる増えている要因かなと推測をしております。

また課題ということでございますが、前回報告をさせていただいたときにも、いわゆるPRというのでしょうか、こういったことについての周知をもっとしたほうがいいのではないかなというようなことでご意見をいただいておりますが、これにつきましては、取り組み等はまだ具体的にはできていないですけれども、現状、ホームページでこういった事業後援を行っておりますということのご案内は引き続きさせていただいておりますが、先ほど言いましたように、市内にそういった会場が増えるという中で、今後もこういった申請というのは増えてくるのかなと考えておりますが、その中で強いて課題といいますと、事業後援の趣

旨というものがございますので、私どもアイムの1階のほうで相談コーナーということで開設をしておりますが、そちらのほうでこういった申請につきましてもご相談を受けながら、その中で事業後援の趣旨をご理解いただけるように丁寧に説明をしながら、こういった手続きを進めてまいりたいと、そんなふう考えております。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 今丁寧なご説明をいただきました。ありがとうございます。よく理解できましたので、是非また今後とも引き続きよろしく願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 この事業後援、特に新規の後援が昨年に比べると本当にぐんと増えましたね。その要因が外的な要因、つまりオリンピックの開催である、そういった機運ですか。そういうことの要因ではなく、生涯学習推進センターがもっと自らが進んでそういう文化事業を育成し、なおかつ市民にそういう、もっともっと文化的な活動を盛んにしていくような方策って、これから3年、5年見据えたときに、どんなことが課題というかテーマになっていくでしょうね。もしありましたら教えてください。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長、お願いします。

○五十嵐生涯学習推進センター長 私どもの生涯学習推進センターでは、これまでも多文化共生というジャンルでの講座事業というのでしょうか、そういったものを実施しております。先ほど私がオリ・パラの関係で増えているのではないかなというようなこととお話をいたしました。このオリ・パラを迎えて、多文化共生という分野では私どもも、そういった部分での講座事業に力を入れているというか幾つか取り組んでおりますので、今後もそういったところを伸ばして、立川市内のオリンピック・パラリンピックの機運醸成というのでしょうか、そうしたところに少しでも寄与できればなというふうには考えております。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 ずうっと今まで、昔からやっているようないろいろな文化活動や、あるいは団体の育成、こういったこともやはりやっていかないと、なかなかこういった事業後援も限りが出てくるのかなというふうな心配をしております。そういう点で是非そういった育成等も考えていただければなと思っております。

○小町教育長 ほか、ございますか。佐伯委員。

○佐伯委員 少しお尋ねしたいのですが、子ども向けの後援で費用が発生するもの等があったら教えていただきたいというのと、そういう費用がかかるものに関しては、もし家庭が払えないようなところを何とかしていただけるようなシステムがあるのかとか、その辺のことを主催者側がちょっと考えていただけるのか。せっかく教育委員会の後援の事業があっても子どもが興味を持っても、家庭の事情でそれを受けられないものがあつたら、それを何とかしてあげられる方法がもしあるなら、そうしてあげたいし、ないのなら今後は考えていかなければいけないのかなというところがあるので、その辺お聞かせください。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長。

○五十嵐生涯学習推進センター長 子ども向けのイベントで費用の有無ということでございますが、今のところ私どもの事業後援の規程の中で、青少年の健全育成とかそういった事業の内容の要件というのでしょうかそういったものを設けていて、そういう中ではなるだけ基本は無料で参加できるようなイベントということでご案内をしております。どうしても費用負担が生じるものでありまして、比較的廉価な料金設定というのでしょうか、そういったものを設けていただいたり、あるいは団体さんによりましては、先ほどちょっとお話がありました特定の方を対象にその部分の減免みたいなものもやっていらっしゃる場所もございますので、具体的に一律こういうルールで費用を減免できるみたいなものはもってはいないので、全体的にはそういった考え方で進めているところでございます。

○小町教育長 佐伯委員。

○佐伯委員 多分この科学のものとかは、実験材料ですとかそういう教材があったりすると購入しなければいけないとか、そういうのが出てきたりするのかなというのがあって、なるべくご家庭の負担が少ないように、それでもお支払できないところの子どもでもこういうものに参加できるように今後も進めていただけたらありがたいかなと思います。

○小町教育長 ほか、ございますか。伊藤委員。

○伊藤委員 お伺いしたいことが1点ありまして、これだけ新しいところが参加ということで申請が出されたということですが、申請のときにいろいろ相談した上で、実際に行われた状況が我々教育委員会の後援の趣旨と合っているかどうかということは、チェックはあるのでしょうか。その辺を教えていただければと思います。

○小町教育長 五十嵐生涯学習推進センター長、お願いします。

○五十嵐生涯学習推進センター長 私どもご相談をいただきまして、先ほど少し申し上げましたが立川市教育委員会事業後援規程というものがございます。この規程にあわせてその事業が後援をする内容なのかということで確認をさせていただいております。少し不明な点があれば、それは申請者の方にいろいろ問い合わせをする中で、こちらの規程の趣旨をご理解いただきながら最終的に後援をするというような形で進めておりますので、そういった窓口での説明の中で私どもの趣旨をご理解いただいているというのが現状でございます。

○栗原教育部長 事業の申請の際は、今、生涯学習推進センター長が申し上げたとおり、内容等申請者に確認をした上で事業後援の決定をしております。

その上で事業を終ったのちには、必ず後援をした団体から事業報告を私ども書類で受けております。参加者数であるとか、または収支報告等含めて報告をいただいておりますので、その中で再度、事業後援に適したものであるかということの確認は行っております。私も、もちろん教育長も事業報告全て見ておりますが、特に事前の申請と異なるような内容で事業を実施したものだというのは特にはございません。

○小町教育長 立川市はそういった意味では交通の要所ということも含めて、それから公共施設、民間施設含めて大変に施設も充実しておりますので、そういう文化活動とか生涯学習活動をする上で大変に条件に恵まれた市ではないかと思っています。今後ともこういう活動が

活発になることによってまちの将来性も開けてくるのではないかという思いも私自身持っておりますので、教育委員会の生涯学習部門といたしましても、育成することはもちろんですが、他市の方でも立川市で活動いただける、そんな取り組みを展開していきたいと考えているところでございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ないようでございます。これで報告(3)平成30年度教育委員会事業後援(上期)の概要について、の報告及び質疑を終了いたします。

○小町教育長 次にその他に入ります。

その他はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○小町教育長 次回の日程を確認いたします。次回、平成30年第22回立川市教育委員会定例会は平成30年11月22日、木曜日、午後1時30分から、302会議室で開催いたします。

以上をもちまして、平成30年第21回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後1時40分

署名委員

.....

教 育 長